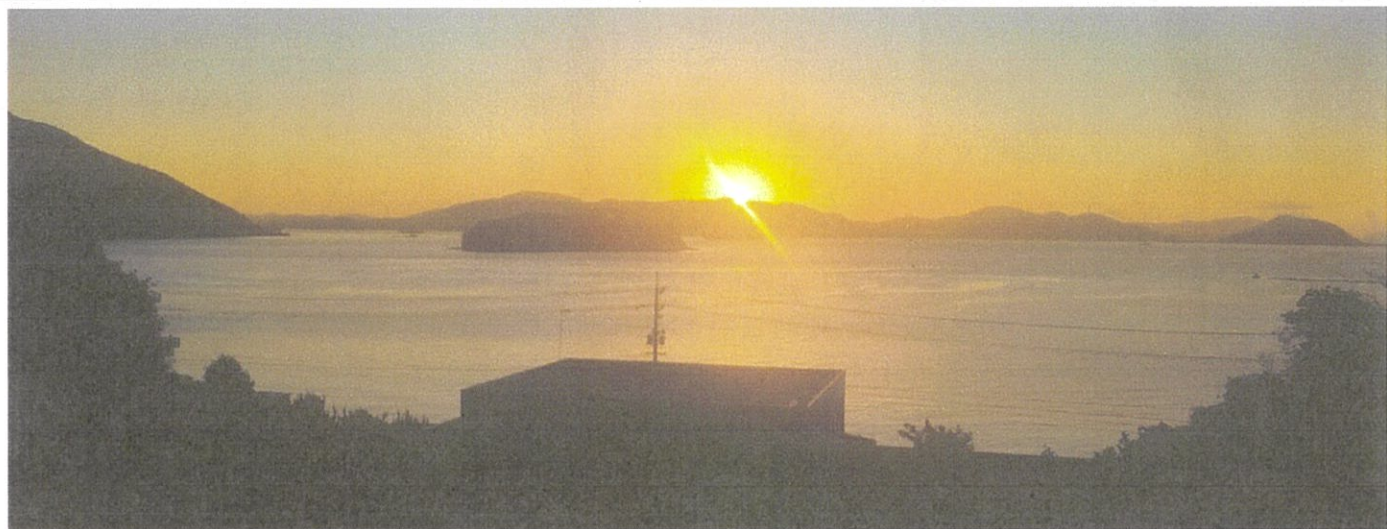


大津島データ 131世帯  
人口170人 男71人 女99人  
高齢化率77.1%  
(令和6年11月30日現在)



# 潮流

題字：末兼南子さん イラスト：大津美子さん



写真撮影：野間 久生

## 山口県知事来島



およそ半年前から計画されていたイベント「元気創出！どこでもトークin大津島」にもなつて、なんと11年ぶりに山口県知事が来島されました。実行委員会等の打ち合わせ5回、総勢スタッフ約50名、市の職員の方々15名程度を引き連れてのご一行は、令和の大名行列の雰囲気がありました。

刈尾・本浦の島内施設視察から、馬島の回天記念館・回天訓練基地跡の見学と分刻みのスケジュールをこなされ、ふれあいセンターにて約30名の島民の方と意見交換会・お食事会となりました。会合後の記念撮影から、巡航船鼓海IIへの紙テープのお見送りまで、濃密な4時間を滞りなく終えられました。



この日はやはり会議にかけつけられていたことから、きっと忘れられない稀有で貴重な一日になったことと思われます。

私の役目のひとつは島内視察・先導車の運転手でしたので、鼓海II寄港の際に、綱とりで往復する車との離合を前日までシミュレーションしてやきもきしていました。関係者のおかげで何事もなくこなせました。ありがとうございました。

とにもかくにもハレの日に「晴れた」ということ、その1点だけでもこのイベントの成功は約束されていたと思われま。晴れ男・晴れ女の皆様をはじめ、この日のために普段から徳を積まれた関係者の皆様、本当に御疲れ様でした。



文川大津島支所 中村 卓広

折に触れ県知事が島民の方の話に何度も耳を傾けられ、気さくに握手を交わされる姿が印象的でした。また島内最高齢98歳の方や、普段イベント等であまりお見受けしない方も

## 謹賀新年

皆様には健やかに  
新年をお迎えのこと  
お慶び申し上げます



昨年は、大津島で四月に五年ぶりのさくら祭（須金・大津島地区交流会）が開催され、久しぶりに花見の気分を満喫されたと思われま。十月には敬老の日記念行事も開催され、共に皆様のご協力のおかげで無事に終える事ができ、感謝しております。

十一月には、十一年ぶりに県知事が来島されました。多くの方が出迎えていただき、本当にありがとうございました。多岐にわたる夏は非常に暑く、体調をくずされた方が多かったのでないでしょうか。急に寒くなりインフルエンザも蔓延してきています。皆さん体調管理には十分気を付けてください。

本年も地域とのつながりを大事にしながら取り組みを進めてまいりますので、引き続きご支援ご協力をお願い申し上げます。

新しい年が皆様にとって幸多い年でありますよう心から祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和七年元旦

大津島地区コミュニティ推進協議会

会長 石田 信行



### 「きらめき賞」受賞

先月号の若潮の会通信で掲載しました公益財団法人山口きらめき財団より表彰された写真です。

# 大津島地区敬老会



10月24日(木)、大津島体験交流施設「海の郷」体育館で敬老の日記念行事が行われました。当日は、敬老者・来賓・スタッフ等総勢約80名の出席がありました。今年は、暑さによる熱中症対策

のため、ひと月半のばしでの開催でありました。当日は、天気も良く敬老会には丁度良かったように思いました。

祝賀会のフラメンコに釘付けとなり皆で、ふりの真似をして楽しみました。カラオケタイムでは、替え歌など進んで参加していただき、最後は恒例のお楽しみ抽選会で大変盛り上がりました

スタッフ、デザイナーの皆さんには、準備から後片付けまでご協力、本当にありがとうございました。

文川大津島支所 原田 和保



～『しまさぼ』よりお知らせ～ こんにちは。島のサポートセンター『しまさぼ』です。

早いもので、『しまさぼ』が立ち上がってからもう4年目になります。島の皆様のご理解とご支援のおかげで、ここまで来ることが出来ました。本当にありがとうございます。この秋、新たなメンバーが2人増え、またさらに島の小さな困り事の解決の為、頑張っていると思っております。どうぞよろしくお願いいたします。改めて、『しまさぼ』の作業内容について、お知らせしたいと思います。

●草刈り(主に夏季) ●伐採(主に冬季) ●その他 ペンキ塗り・自転車パンク修理・網戸の張り替え・耕運機による畑の耕し・家具の移動 等 ●JAの運搬補助 灯油・肥料などをご自宅まで運搬

◆その他、何か困り事がありましたら、遠慮なくご連絡下さい。内容によっては応じられない場合もありますので、その点はどうぞご了承下さい。

島のサポーター『しまさぼ』  
周南市大津島 1361-4  
電話: 080-1090-2180

～大津島巡航(株)よりお知らせ～

明けまして、おめでとうございます。本年も宜しくお願いいたします。

令和7年度ドック入りの日程が決定しましたのでお知らせいたします。詳細は、下記の日程のとおりです。

■フェリー新大津島ドック 期間：令和7年2月10日(月)～2月21日(金)  
■鼓海Ⅱドック 期間：令和7年3月14日(金)～3月25日(火)

※作業状況によって、延長になる場合があります。詳細は、徳山営業所(21-7749)までお電話下さい。

**お知らせ** 【次回潮流発行予定日】  
3月1日 第302号

・2月18日(火) 税の申告相談(※今年は少し遅いです)  
大津島ふれあいセンター(10:30～12:00)  
大津島支所(13:30～16:00)

移動図書館 やまびこ号ジュニア  
1月18日(土)、2月22日(土)  
馬島11:30～ 刈尾12:20～

【編集後記】明けましておめでとうございます。昨年の12月は、めずらしく何度も虹があらわれ、見ると幸せが訪れると言います。今年も皆様にとって、いい年でありますように…。 文責：大津島支所 原田 和保

善意銀行へのご寄付ありがとうございます

▼預託者 昭和34年馬島小学校卒業同窓生一同 様  
一般寄付として 金27,431円  
(市社協5,486円、大津島社協21,945万円)

▼預託者 野間 博文 様  
母 野間 テリ卫 様の香典返しとして  
金5万円(市社協1万円、大津島社協4万円)

## 知っちゃんるかね

### 「寄り合う」



文川松本 千恵子

島の冬は風が強い。瀬戸浜と黒髪の間から吹き下ろす風が、老体をなぶる。しかし昔耕していた畑は、後ろに高い石垣があって北に背を向けているので冬は暖かくて、島の婆さん達が芋の焼いたのやら、こおり餅の焼いたのやらを持ち寄って、話講はなし(こう)をせたまんじやったと聞いた事がある。

暖房という言葉さえなかった時代。暗い家の中で、せいせい火鉢を囲むしかない時に、暖かな陽射しが降り注ぎ風も当てる所は、婆さん達の良い社交場だったのだろう。話題は言つと、おおかた大したことも無い話を笑いながら、延々リピートする。たまには父ちゃんへの愚痴やら、島のスキャンダルやら、それもこの前聞いたぞという話を繰り返しては笑う。

あの時代、家の中では働きづめで気も使いながら、中々感謝される事も無く日を送り、ようやく冬になって婆さん達の仕事も少なくなり、たまには寄り合つて話すのがいっときの楽しみだったろう。それでもただ寄るのではなく、藁を持ち寄って縄をなったり、それで草履を作ったりしながら話す。たまに道を通り掛かる人がいたら、「まあ、あんたも寄つて、話して行きさん」と呼び止めて、仲間にしたがり帰ると言う人には、芋やらこおり餅の硬くなったのを持たせたり。雨が降って農作業が出来ない日で、家に父ちゃんが居な

い時などは「小日和(こひより)をしようやあ」と誘つて家の内に寄り合うこともあった。親しい友達や近所の人など、良い情報交換の場となる。取り留めも無い話をしながら、自分の知らなかった話や、するべき事の内容など、実は結構女の暮らしには役に立っていた。男の人達にはその所は理解して貰えず、用も無いのに集まると、冷たい目で見られがちだったけどね。

寄り合うのも、近所や知り合いだけで無く、婦人会や漁協の婦人部など、大きな組織もあつて、イベントがあると役員だけでなく、一般の会員も寄つて弁当を作ったり、バザーをしたり、地域清掃をしたりと出る機会も多かった。そこでは、日頃話す機会が無い人とも一緒に活動する内に親しくなるし、新しい情報も聞く事が出来た。そんなこんなで、寄り合っている内に、少しずつ大人になった気がするなあ、私の場合は。とは言え、もはやその寄り合うことも少なくなつた。婦人会、漁協の婦人部も解散して久しい。女同士二、三人が顔を合わせて話すが、精一杯になっている。それでも「お互い生存確認じゃから」と言いながら、取り留めも無い話をする時間は貴重だと思

## 徳山湾見聞録

### 48 大津島からも温泉が湧き出るかも?

文川大津島巡航 三崎 英和

記録的猛暑だった夏も終わり、冬がやって来ましたが、この季節は温泉で温まるのが楽しみの一つですよ。皆さんの近くのおなじみの温泉は、やはり湯野温泉ですか。中には下松市の大城温泉がお気に入りという方もいらっしゃるのでは無いでしょうか。

この大城温泉は、地下1000mから汲み出されている冷泉で、その泉質は塩化物泉となっており、海水の成分と似ています。公表はされていませんが、そのように冷泉で塩化物泉である場合は、非火山性の化石海水型の温泉であると推測されます。

地球の地中の深くには、太古の地殻変動などで、海水が地中に閉じこめられている場所があり、そこから採取したものがこの型の温泉で、上関町の鳩子の湯も、同じ泉源だと推測されます。

つまり、上関から笠戸島にかけて、この泉源が分布している可能性があります。

専門業者のホームページには、1000m程度掘削してポンプも設置した場合は1億円程度となつていますが、掘っても出なかった場合は無駄な投資をしたこととなります。最近では技術が進歩し、温泉が出るか否かの見極め精度は高くなつていて書かれていますが、結局はやっぱり見ないと分からないというところでしょう。

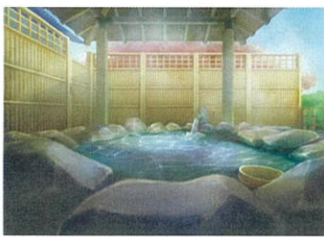


イラスト 三崎さん